

東急不動産ホールディングス株式会社が発行する 「グリーンボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 柳沢祥二、以下「当組合」）は、このたび、東急不動産ホールディングス株式会社（以下「本法人」）が発行する第 22 回無担保社債（グリーンボンド）、（以下「本債券」）への投資をいたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2020 年 1 月 23 日）。

「グリーンボンド」とは、調達資金の使途が環境配慮型投融資案件に資するものであることに限定された債券です。

本法人は、本債券の資金使途として、「渋谷ソラスタ」の建設資金及び「リエネ松前風力発電所」の開発資金にかかるリファイナンス資金として、全額を 2020 年 2 月末までに償還予定のコマーシャル・ペーパーの償還資金の一部に充当する予定であります。

また、本債券につきましては、国際資本市場協会（ICMA）が定めるグリーンボンド原則 2018 および環境省グリーンボンドガイドライン 2017 年版に適合している旨、第三者機関である Sustainalytics からセカンドパーティ・オピニオンを、株式会社日本格付研究所（JCR）より「JCR グリーンボンド評価」の最上位評価である「Green1」の予備評価を取得しております。

当組合は、今後も ESG 投資を通じて、SDGs の達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上